

藤岡地域包括支援センター 担当

日 時： 令和8年3月18日（水）午後1時30分～1時50分

会 場： 栃木市役所大平総合支所

事例数： 1ケース（8月20日検討した事例の振り返り）

参加者数： 11名

事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、
傍聴者1名

歩行量の減少による筋力低下が考えられる 91 歳女性

〈目標〉1日:仏壇の御花の水の取り換えをする。

1年:元気でいられる。

利用サービス：通所介護、福祉用具レンタル

《前回会議での支援策》

支援方針：ポリファーマシー予防のため薬の一包化を図り、水分摂取は水、白湯、麦茶を促す。また定期的に歯科医院の受診を促し、悩みを抱えることがないように傾聴ボランティア等の活用を検討する。

- ①残りの歯にも虫歯や歯周病が生じている可能性も考えられるため、歯科医院に定期受診する。
- ②よだれが垂れる原因を明らかにするために、歯科医院で高齢者の口腔機能低下症の検査を受ける。
- ③薬の一包化を図り、服薬管理を簡素化する。
- ④過去の骨折の影響を鑑みて、負担の少ない体操を取り入れて歩行機能の改善を図る。
- ⑤使用している薬はカリウムを多く含む飲料との相性が悪いため、水分摂取は水や白湯、麦茶等が良い。
- ⑥店頭の貸出車いすや、傾聴ボランティア等の物的・人的資源を活用しコミュニケーションの機会を増やす。

《支援結果・状況》

- ①、②未達成：歯科医院を受診するよう促しているが、歯磨きをするようになったという理由で受診の意思がない。
- ③達成：S 病院が処方する薬は一包化し、P 病院が処方する 2 種の薬と併せて薬箱で管理している。
- ④未達成：リハビリ資料を提供し、負担が少ない体操をするよう促したが、体操は実施していない。
- ⑤達成：水分は水か白湯かお茶を飲み、食事を小皿に取り分け食べる工夫をし、薬との飲み合わせや塩分量に気を付けている。
- ⑥未達成：地域活動への参加を促したが、頼れる家族がおり困り感がなく、参加を望んでいない。